

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和6年 2月 10日

事業所名:LINO

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動内容に合わせて、児発、放デイの仕切り(パーティション)を外し、広くしている。また、多目的室や公園等を活用している。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・スロープや手すり等、生活しやすい空間を提供できるように心掛けている。	・テナントビルで開所している為、共有スペースにおいては設備面でのバリアフリー化は困難な状況であるが、安全面に配慮して支援を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・活動前後に清掃を行い、心地よく過ごせるよう心掛けている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・朝のミーティングや職員会議等を活用して、目標設定と振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・昨年度の評価表(ご意見を踏まえた対応)を基に業務改善につなげることができた。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページ(lino2020.jp)で公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・第三者による外部評価は行っていない。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・ABA研修を職員会議にて実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・半年ごとに聞き取りを行い、ニーズに合わせた支援計画の作成を行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・黒澤礼子氏監修のアセスメントツール総合版を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・計画的に実施している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・計画的に実施している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・毎月活動プログラムを立て、様々な観点から取り組めるようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの特性に応じた個別支援計画書を作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・朝、当日の活動についてミーティングを行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・次回の支援に生かせる様に振り返りの時間を設けている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々の記録を取り、評価や改善につなげている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・評価会議を実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・評価会議を実施し、支援の必要性や見直し等を行っている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて、関係機関との連携を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・医療的ケアが必要な子どもとの関係機関と連携を図り、情報を共有しながら支援を行っている。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・専門職や担当職員が中心となり、見学や情報共有を行っている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・担当職員が訪問等を行い、情報共有して連携した支援を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを使用し、保護者に了承を得た上で情報提供を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・参加している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・併行通園をされている利用児が多く、交流等の活動を設けていない為、公共の場や施設の利用等を通して交流の機会を図っていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・会議等にも参加し、近隣の事業所等と、情報交換をしている。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・引継ぎや連絡アプリ、電話にて、育児に関する助言等の支援を行っている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・園長と語ろう会を開催し、子育ての悩みや保護者の関わり方の向上に繋がるよう時間をもうけている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に丁寧に説明を行い、安心して通園していただけるように心掛けている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画作成後、保護者へ説明・交付を行い、同意(捺印・署名)を頂いている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・半年に一度評価月に必ず面談を行い、子どもの様子や保護者の思いも聞き取り組み支援を行うようにしている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・親子遠足や芋ほり等、保護者参加型の行事を開催し保護者同士の連携を図れる場を提供している。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・保護者より相談があった際、迅速に対応を行っている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月LINO通信を発行し、文章や写真を通して取り組みをお伝えしている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・写真掲載同意書を基に個人情報に十分配慮している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・個々に応じて、伝達手段を工夫して対応している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・当テナントビル内で地域交流活動(ハロウィン)を実施した。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・火災、風水害、地震、不審者マニュアルに基づいて避難訓練を実施している。また、保護者の方へ報告している。 ・感染症対応については職員研修等で外部講師を招聘し、実施しています。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・様々な災害を想定した避難訓練を月に1回行い、避難誘導や救出の訓練を実施している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・保護者様より提供頂いた情報を元に、看護師を中心に状況確認を行っている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・アレルギーについて、聞き取りを行っている。また、アレルギーのあるお子さんについては医師の指示書の提出をお願いしている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、全職員が改善策を共有し再発防止に努めている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員間で研修を行い、適切な対応を行えるようにしている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・必要な児に対しては、保護者に説明を行い、了解を得ています。成長に合わせて必要性を検討し、見直しを行っている。 継続が必要な児は、年1回保護者に説明し了承を得ている。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)